



● 「世界をぐっと近くに！」の実現に向けて！
 —— 宮崎県都城市コミュニティ文化課国際化推進室

「世界をぐっと近くに！」

都城市では、「世界をぐっと近くに！」をスローガンに「国籍・民族を問わず笑顔が広がるまちづくり」に取り組んでいます。市民に国際化を身近に感じてもらう機会を創出し、国際交流事業や国際協力・国際理解に関することや、外国人支援を展開していく上で、JETプログラムの国際交流員（CIR）3名は欠かせない存在になっています。今日も「世界をぐっと近くに！」を感じてもらえるように頑張っています。

中国重慶市江津区との交流

当市は、1999年11月に中国重慶市江津区と友好交流都市を締結し、2002年4月から中国出身のCIRを市役所内に配置しています。学校訪問などを通じて、中国の食文化や国の歴史などを市民に伝えています。

2001年から2013年まで「中学生サマーキャンプ」を実施しました。都城市内の中学生と重慶市江津中学校の生徒が互いのまちを訪れ、ホームステイやキャンプを通して文化交流を深めました。

また、都城国際交流協会主催の国際交流イベントでは、中国の国紹介や文化体験を実施しています。そのほか市内にある市民交流団体では、中国への訪問や中国からの訪問団を積極的に受け入れるなどの交流を続けています。



中国重慶市江津区を公式訪問（2014年5月）

モンゴル国ウランバートル市との交流

同じく1999年11月にモンゴル国ウランバートル市と友好交流都市を締結し、モンゴル出身のCIRを1999年4月から配置しています。

2000年から2008年まで当時の都城市国際友好交流都市協会が「モンゴル日本語学習キャンプ」を企画。都城市民とウランバートル市の大学生が交流していました。

現在も、都城市とウランバートル市の中高生10名が互いのまちを訪れ、ホームステイなどの交流を続けています。

1992年に設立された「モンゴルに風力発電機を贈る会」は、設立当初から毎年、モンゴルの遊牧民に風力発電機を贈り続ける活動が高く評価され、2006年度姉妹自治体交流表彰総務大臣賞を受賞し、現在も活動を続けています。

また、モンゴル国ホストタウンとして、モンゴルレスリング連盟から次世代を担うオリンピック候補選手たちを当市に招いて、地元のレスリングクラブの選手らと「モンゴル・日本レスリング交流会」を行っています。

そのほか、都城産宮崎牛をPRするため、在モンゴル日本国大使館主催の天皇誕生日祝賀レセプションに牛肉を提供し、ウランバートル市内の日本食レストランで、都城産宮崎牛の振る舞いなどを続けています。



ウランバートル市青少年訪問団（2018年8月）
 ～都城市立図書館にて～



都城市青少年モンゴル訪問団（2019年7月）
～ウランバートル市チンギス・ハン騎馬像前にて～



第2回モンゴル・日本レスリング交流会（2019年2月）

オーストラリアとの交流

また、当市の中学生とオーストラリアのクイーンズランド州バーペンガリー中等学校（BSSC）の生徒が、語学研修のため相互交流を行っています。BSSCの所在地であるモートンベイ市との行政間交流も続けており、今後、青少年交流や市民交流だけでなく経済交流など地元企業を中心とした民間企業の交流に発展することに期待しています。



オーストラリア連邦モートンベイ市を訪問（2019年7月）

国際交流員の飛躍

当市には3名の国際交流員が在籍しており、これは全国的にも珍しいかと思えます。

日頃から3名で話し合い、協力しあうことで、より効率的な活動とその成果につなげています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、市内の小中学校への訪問件数が激減。

国際理解講座がほとんど出来ない状況の中、3名のアイデアでYouTubeで配信する動画の制作を開始しました。現在では、3カ月に一度のペースで公開しています。国際交流員の3名が楽しみながら、真剣にチャレンジして、皆さんに笑顔をお届けする動画です。



YouTube「国際交流員の Let's try it !」
<https://www.youtube.com/watch?v=iATmbBvfc40>

そんな当市のCIRは、モンゴル国出身のソヨルマーさん（7年目）、中国出身の銭さん（4年目）、オーストラリア出身のジョージさん（4年目）と任用期間3年オーバーのベテラン揃い。都城市のまちや人に対して、任用期間以上に深く愛着を持って仕事をしてきています。今後の更なる活躍に目が離せません！



都城市の自慢のCIR3人衆